

大学教育再生加速プログラム (YU-AP) 最終章

ー発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場 in Tokyoー



“スズメの学校”⇒“メダカの学校”

YU-AP宣言 (2015. 3)

- (1) 「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」(ラーニングコミュニティ)を通じた人材育成。
- (2) 山口大学の教育システムを学生に、社会に質保証できること。
- (3) 事業成果を積極的に情報発信し、我が国の高等教育全体の発展に貢献すること。



ボーダーレス・キャンパス

学生から見た主体的な学びとは

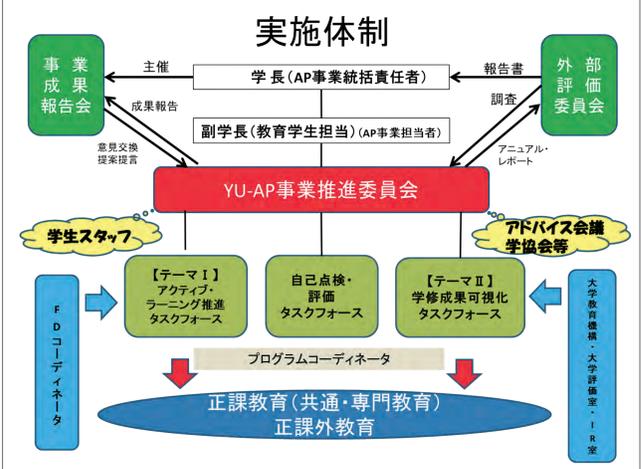
★「主体的な学び」とは、「応用力」の身に付く学びのことである！
★学生が外的刺激を受ける場が学内と学外に必要。
★学内外の主体性の循環にうまく学生を乗せることで、学生の質を高められるのではないか！
出典 杉元・奥田(2015) 横浜国立大学主催AP推進フォーラム・学生意見表明資料より作成。

学び合い(共育)

アセスメント科目(知の広場)

1年次必修の初年次教育科目「知の広場」にて、『山口大学生コンピテンシー』の達成度をBYODでアセスメント

教職学協働による事業推進



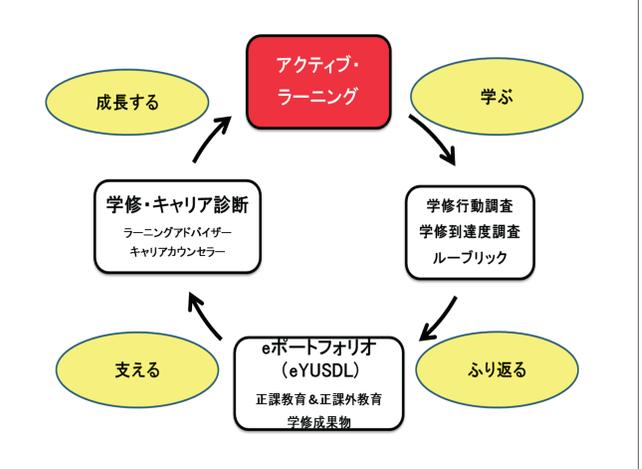
スチューデント・リーダー養成

正課教育だけでなく、正課外教育の充実『スチューデント・リーダー・プログラム(SLP)』の創設！

『共育ワークショップ』

「教員・職員が学生とともに」(教職学協働)
 「大学が高等学校とともに、社会とともに」(ステークホルダー協働)

キーコンセプト『学びの好循環』



Teaching & Learning Catalog

AL (アクティブ・ラーニング) ベストティーチャーとアクティブ・ラーナーによる授業実践 & 学修経験を綴った珠玉のカタログ (学生スタッフの発案がヒント)

教育成果と学修成果

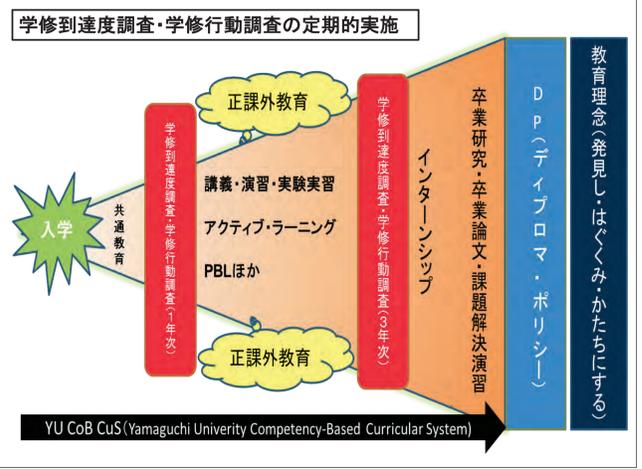
AL型授業の教育成果

AL高低	人数	平均値	自由度	有意水準
出題率 低	37890	4.79	1.93 (75401)	< .10
出題率 高	37513	4.80		
授業外学習時間 低	37818	2.72		
授業外学習時間 高	37471	2.90	21.37 (75287)	< .01
到達目標達成度 低	37267	4.15		
到達目標達成度 高	36894	4.25	15.71 (74159)	< .01
授業理解度 低	37802	4.18		
授業理解度 高	37504	4.31	19.32 (75404)	< .01
授業満足度 低	37860	4.26		
授業満足度 高	37573	4.37	16.85 (75531)	< .01

【理想的な目安】
ALポイント6.1以上 (※最高ポイント14)

出典: 高林・林(2019)「教授方法の可視化による授業改善についての考察—アクティブ・ラーニングポイントの妥当性検証—」2019年度日本教育工学会研究会発表要旨集

学生調査開発・DP達成度測定



学生FDサミット2017春 (山口大)

全国学生祭典『学生FDサミット2017春』に約300名(学生・教職員)が集結！

学修成果

本学独自の学生調査による1年次—3年次の学修習慣の経年変化 [N=2017年度入学者(1年次1,760名、3年次1,822名)]

大学における学修習慣 全体

課題やレポートは満足がいくように仕上げている
 授業には積極的に取り組む
 GWの際、グループにおける自分の役割をしっかり把握する
 GWの際、グループの活動を前進させるような提案や行動をする
 GWの際、グループメンバーの提案に対して、積極的に言葉や行動で応答する
 議論や発表の中で自分の考えをはっきり示す
 議論や発表の中で自分の考えを上手く伝えられる方法を考える
 授業では、新しい概念を理解しようとするときには、それを実際の状況や日常の出来事に関連させる
 授業では、学んでいるものを活用して自分なりの結論を導くために、そのエッセンス(証拠・根拠)を注意深く検討する
 授業では、議論を理解したり、物事の背景にある理由や理屈を理解することが、自分にとって重要である